

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が2,090例(男性1,036例(10歳代151例, 20歳代408例, 30歳代135例, 40歳代106例, 50歳代75例, 60歳代40例, 70歳代38例, 80歳代22例, 90歳代6例, 年齢非公開55例), 女性975例(10歳代131例, 20歳代363例, 30歳代120例, 40歳代114例, 50歳代73例, 60歳代41例, 70歳代35例, 80歳代36例, 90歳代21例, 年齢非公開41例), 性別及び年齢非公開79例)あり, 本年の累積報告数は2,668例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(20歳代女性)あり, 症状は腹痛, 水様性下痢, 血便です。感染地域は国内, 感染経路は経口です。本年初めての報告です。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が2例(10歳未満男性及び70歳代女性)ありました。本年の1例目及び2例目の報告です。
- ・ **インフルエンザ**は, 市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。全国でも報告数は極めて少なく(定点医療機関数約5,000から54例の報告), 現在のところ流行の兆候はありません。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は6.86(295例)で, 前週4.79(206例)から増加しました。年末年始に当たる第52週に大きく減少しましたが, その後3週連続して増加しており, 今週は京都市と全国のどちらも過去5年平均値を上回りました。現在のところ大きな流行とは言えませんが, ノロウイルスの流行時期でもあるため, 引き続き動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2022年第2週, 本市では新型コロナウイルス感染症の検査陽性者が2,090例報告されました。昨年第52週, 今年第1週から報告数は急増しており, 急速な感染拡大が起こっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域※, 感染経路※の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- ・ 二類: 結核 2例(肺結核 なし, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 6例(肺結核 なし, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 2,090例**【1月以降の累積報告数2,668例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

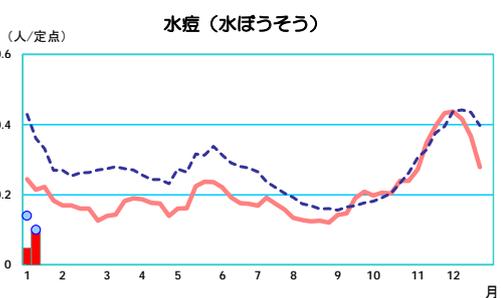
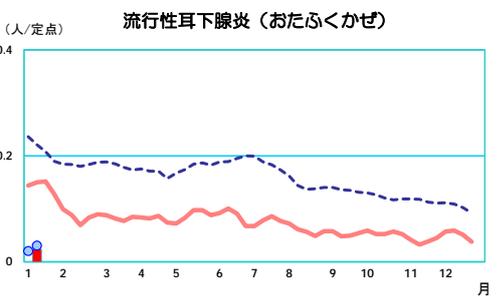
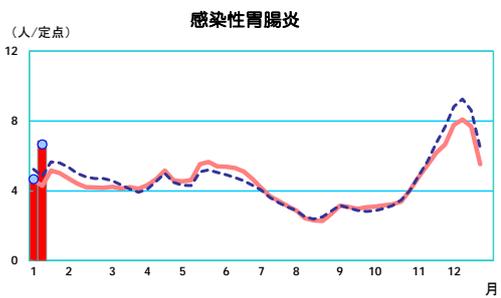
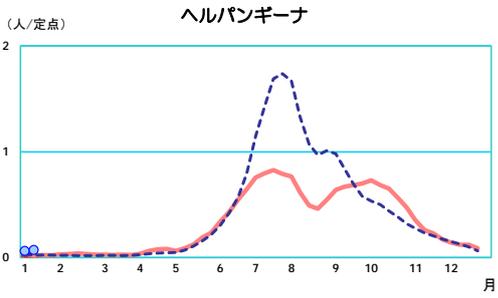
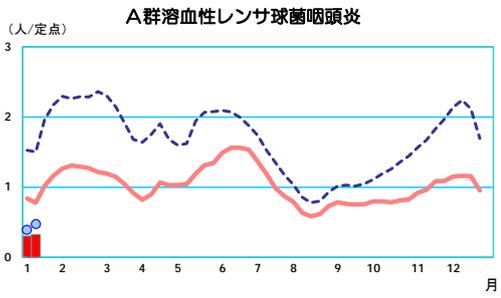
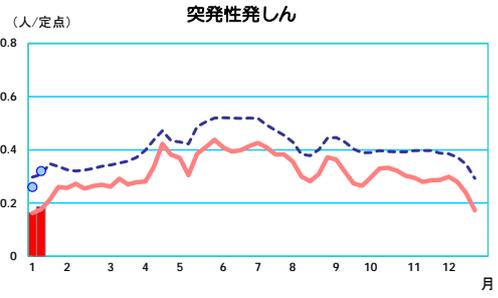
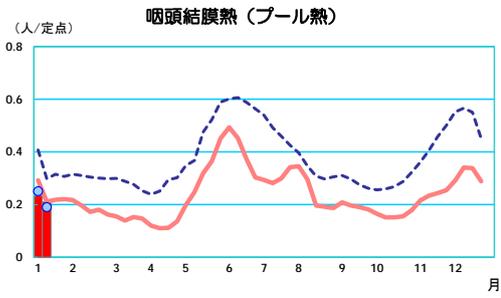
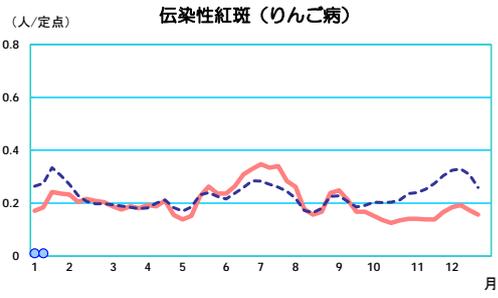
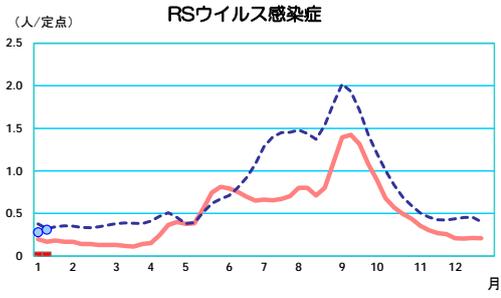
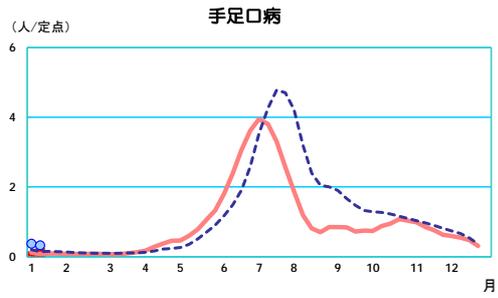
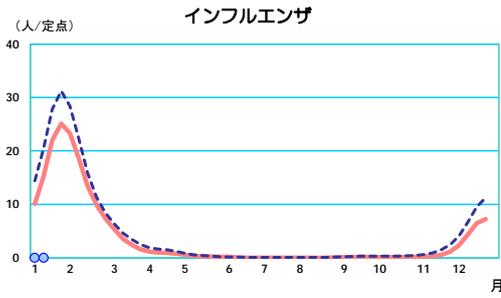
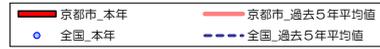
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.86	295
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	14
	③ 手足口病	0.26	11
	④ 咽頭結膜熱	0.21	9
	⑤ 突発性発しん	0.19	8
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

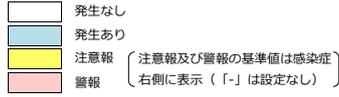
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2022年1月19日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

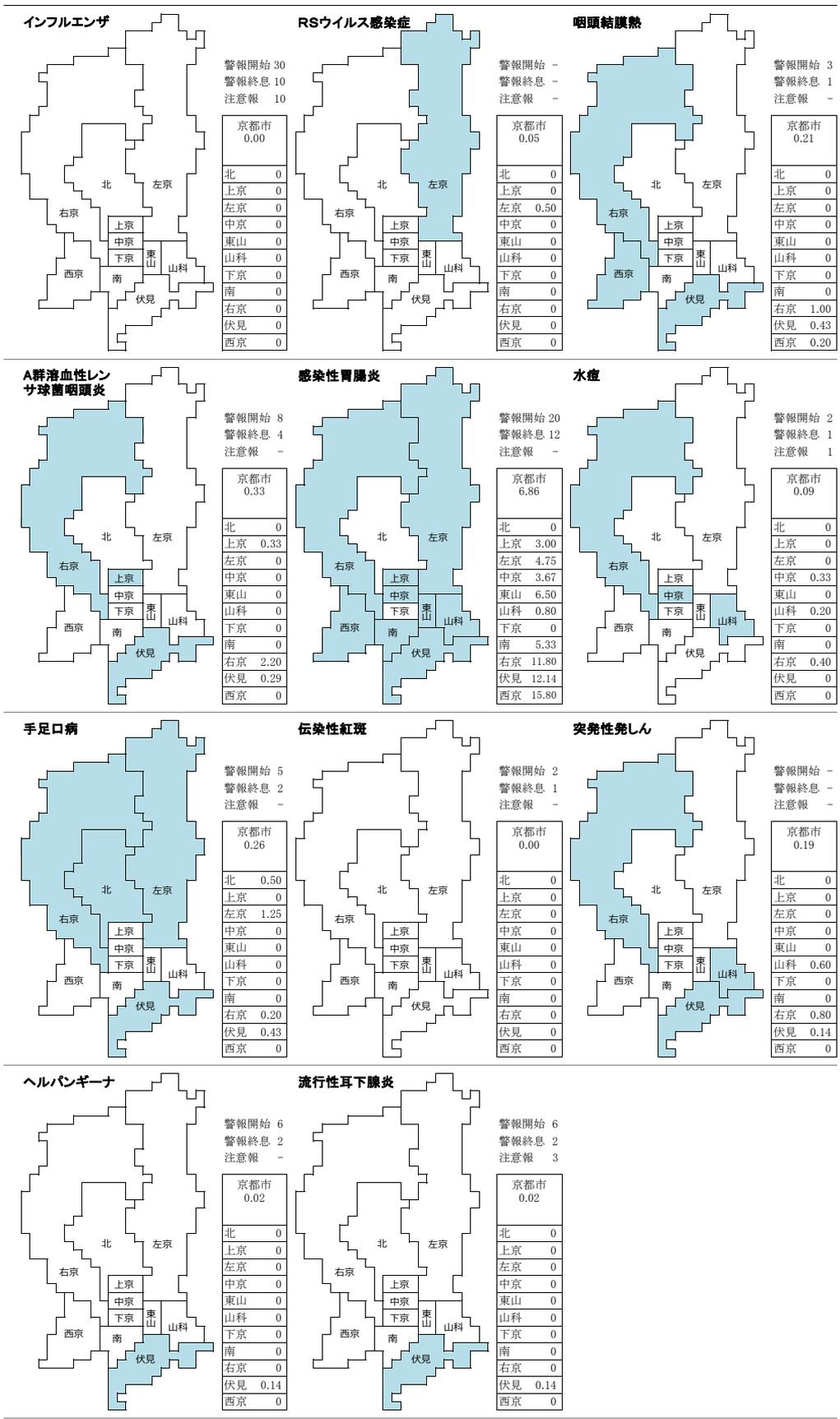
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年 第2週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
 規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第2週(1月10日～1月16日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2022年第2週,本市では新型コロナウイルス感染症の検査陽性者が2,090例報告されました。昨年第52週の75例,今年第1週の558例から報告数は急増しており,急速な感染拡大が起こっています。

五大都市及び東京都,沖縄県における1日の新規陽性者数(人口10万人あたり,週移動平均)の推移を見ると,2021年7月から9月にかけていわゆる第5波が起こり,その後11月～12月には報告がほぼありませんでした(図1)。しかし,2022年に入ってすぐ沖縄県で急激な増加を見せ,続いて1月中旬になると他の都市でも第5波よりも急激な増加が見られています。1月19日までの時点で,沖縄県,大阪市,本市並びに神戸市において既に第5波のピークを超えており,第5波よりも大きな流行になると予想されます。

流行状況を見る指標として,経路不明率と検査陽性率があります。ある1日に新たに判明した陽性者のうち,感染源となった人物または出来事が特定できないものの割合を経路不明率といいます。経路不明率が高くなるほど,知られていない感染源,すなわち発見されていない感染者が増えている可能性があります。新規陽性者が少ないと変動が大きくなり,評価が難しくなるため,検査陽性率と同時に評価します。検査陽性率は,1日あたりの検査数に対する新規陽性者の割合のことです。経路不明率と検査陽性率が同時に高くなると,濃厚接触者を十分に捕捉できておらず,検査されないままの感染者が増えていると考えられます。

本市の経路不明率と検査陽性率の推移を見ると,第5波では最大で経路不明率は61%,検査陽性率は13%でしたが,今年第2週はそれぞれ83%と22%となり,こちらも第5波のピークを超過しています(図2)。このため,捕捉されていない感染者が第5波よりも多く潜在すると疑われます。

昨年末に本市でもオミクロン株の感染者が見つかりましたが,従来株と同様,感染予防には手を洗い消毒すること,マスクを着用することが重要です。引き続き三密を避けるとともに,ひとりひとりが予防を心がけましょう。

○厚生労働省では,新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では,新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

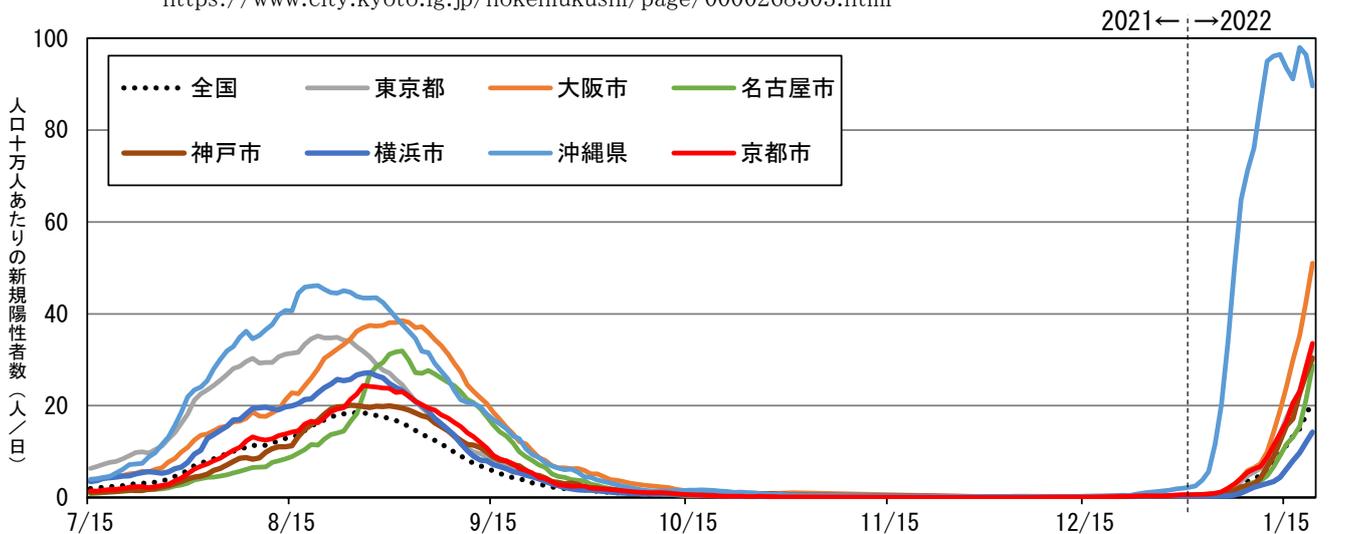


図1. 人口10万人あたりの新型コロナウイルス感染症新規陽性者数(週移動平均)

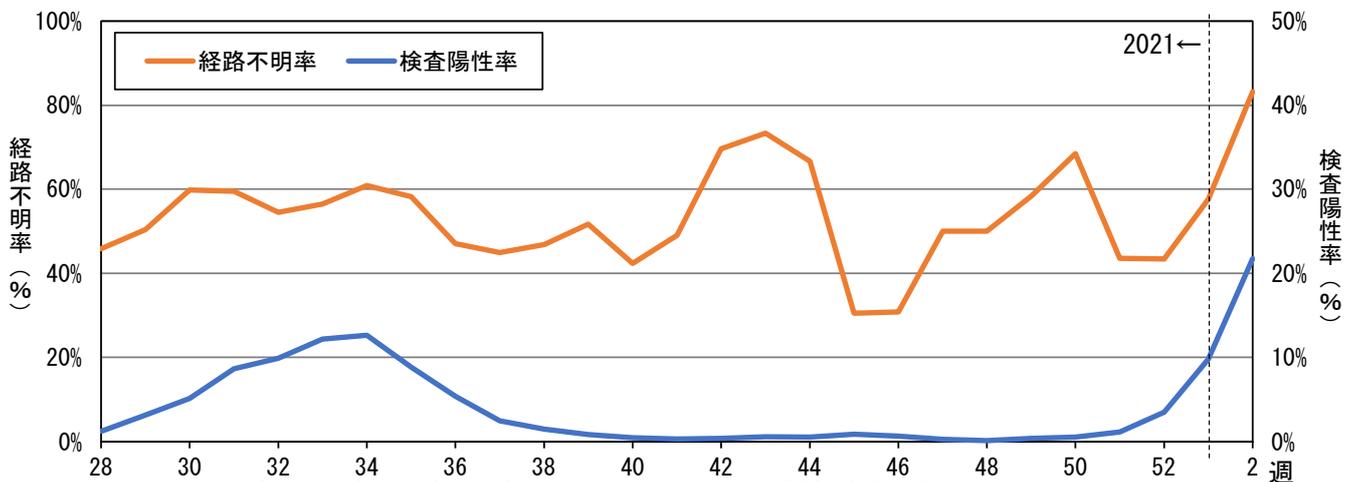


図2. 本市の疫学週ごとの新型コロナウイルス感染症経路不明率・検査陽性率

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第2週

疾病,行政区別報告数

2022年1月10日～2022年1月16日

データ入手日:2022年1月19日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2	-	-	19	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	4	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	5	11	59	2	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	3	2	85	-	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	-	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	2	9	14	295	4	11	-	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.50	-	-	4.75	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	3.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	0.80	0.20	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	5.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	1.00	2.20	11.80	0.40	0.20	-	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.43	0.29	12.14	-	0.43	-	0.14	0.14	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.20	-	15.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.05	0.21	0.33	6.86	0.09	0.26	-	0.19	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第2週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年1月10日～2022年1月16日

データ入手日:2022年1月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		9	-	1	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		14	-	1	4	2	1	1	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		295	2	20	55	47	35	28	20	25	11	7	8	10	4	23	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		11	-	1	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		8	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.21	-	0.02	0.12	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.33	-	0.02	0.09	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.86	0.05	0.47	1.28	1.09	0.81	0.65	0.47	0.58	0.26	0.16	0.19	0.23	0.09	0.53	-	-	-	-	-	-
水痘		0.09	-	-	-	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.26	-	0.02	0.16	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.19	-	-	0.14	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第2週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年1月19日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	1	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	1	4	2	2
咽頭結膜熱	7	7	10	4	10	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	9	19	5	13	14
感染性胃腸炎	390	443	452	176	206	295
水痘	5	4	-	6	2	4
手足口病	70	83	60	24	6	11
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	10	9	9	5	7	8
ヘルパンギーナ	6	6	13	9	1	1
流行性耳下腺炎	3	1	1	2	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	2	2	2	-	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	507	564	568	237	247	345

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	0.02	0.09	0.05	0.05
咽頭結膜熱	0.16	0.16	0.23	0.09	0.23	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	0.21	0.44	0.12	0.30	0.33
感染性胃腸炎	9.07	10.30	10.51	4.09	4.79	6.86
水痘	0.12	0.09	-	0.14	0.05	0.09
手足口病	1.63	1.93	1.40	0.56	0.14	0.26
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.23	0.21	0.21	0.12	0.16	0.19
ヘルパンギーナ	0.14	0.14	0.30	0.21	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.07	0.02	0.02	0.05	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.20	0.20	0.20	-	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	11.87	13.27	13.35	5.67	5.74	8.02

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。